

江戸幕府は、どのように全国を支配していったのだろうか。

1600年 関ヶ原の戦い

西軍(石田三成) VS 東軍(徳川家康)

→勝利したことで征夷大將軍任命される。

【江戸幕府の成立】

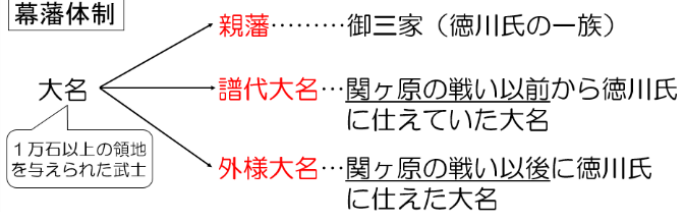
(1603年～1868年)

大阪の陣(1614年・1615年)の後、大きな戦乱のない時代を迎える。

なぜ、大きな戦乱のない時代を迎えられた？

①大名の統制

幕藩体制



大名の配置は、どのようになっている??

武家諸法度

1615年に出された、大名が守るべき法律。
 →大名が幕府の許可なく城を修理することや結婚することを禁じた。
 さらに1635年、3代将軍徳川家光は参勤交代の制度を追加した。

参勤交代

大名を1年ごとに江戸に住ませ、大名の謀反を防止した。
 →参勤の費用や江戸での生活費は大名が負担したため、出費が多くなった。(外様大名は、出費がより多くなった。)

・大名の領地やその仕組みを藩という。
 幕府は、藩や大名を統制する力を持っていた

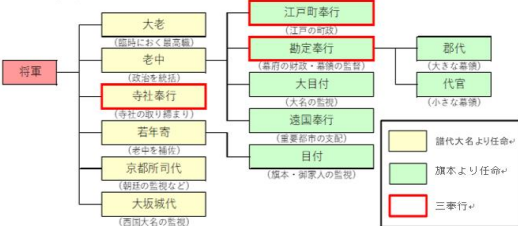
幕藩体制の確立

②朝廷の統制

禁中並びに公家諸法度

天皇や公家の行動を制限し、政治上の力を持たせなかった。

江戸幕府のしくみ



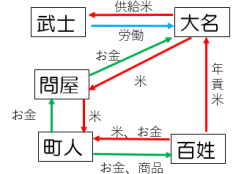
③身分統制

各身分の職分

武士…名字と帯刀などの特権を持った。
 百姓…全人口の85%を占め、生活は、自給自足に近かった。
 町人…城下町に住んでいた、商人や職人。

百姓・農村の役割

- ・農村が幕府や藩の経済を支えていた。
- ・百姓は林野や用水路を共同利用したり、田植えなども協力したりして行い、助け合いながら生活していた。
- ・一方、えた身分・ひにん身分に対する差別。
 →差別意識の強まり



まとめ

江戸幕府は、大名や人々を統制して全国を支配した。

- ・江戸幕府は武家諸法度や参勤交代などの幕藩体制を確立して、大名を統制した。
- ・江戸幕府は身分制度によって人口の多くを占める百姓が、その役割を果たす仕組みをつくり、財政の基礎を固めた。